

事例 1 4 ICT端末を活用し、意見や考えを収集し、共有、可視化を効果的に行った事例

○学年 第2学年

○主な内容 内容「C 消費生活・環境」(1)金銭の管理と購入 ア(ア)(イ)イ
(2)消費者の権利と責任 アイ

○事例のポイント

- ① 情報の共有方法や学習内容の整理の仕方を工夫し、身近な消費者被害について、自分事として捉え、興味や関心がもてるようにする。
- ② 具体的な状況や場面を想定しながら、思考し、判断する場面を設定することで、今後の生活で実践できる学びにする。

ICTを活用した主な学習場面

- ・生徒の生活体験を振り返る場面
- ・集めた考えや意見などを整理する場面
- ・学習の成果を共有する場面

ICT活用の利点

- ① 多様な意見や考えを効率的に収集できることを生かして、共同編集等を活用して、個人やグループの考えを共有したり、学級全体の意見やアンケート結果を図などで共有、可視化したりすることができる。
- ② 授業場面に合わせた資料、画像や動画の提示をすることができる。

1 題材名 「自立した消費者になるためにできることは何だろう」

内容C (1)ア(ア)(イ)イ (2)アイ 第2学年

2 題材について

- (1) 生徒について 省略
- (2) 題材について

本題材は、「C消費生活・環境」の(1)(2)ア及びイに関する題材である。課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。情報化が進む現代においては、販売方法が多様化し、中学生が消費者トラブルに巻き込まれているケースも少なくない。本題材では、生徒が身近な消費生活に関心を持ち、賢い消費者として自立するための知識や判断力を身に付けることを目指し、生徒自身の消費行動を振り返り、学んだ知識や技能を具体的な場面で活用することをイメージしながら学習を進められるよう工夫する。また、中学生自身の消費者トラブルの経験を踏まえた事例を取り入れ、自分事として考えられるようにすることで、学習への意欲が高まると考える。

(3) 指導について

現代のキャッシュレス化の進行や消費者被害の低年齢化に伴い、消費者被害の回避や適切な対応が一層重視されることから、売買契約の仕組みと関連させて消費者被害について取り扱う。さらに、持続可能な社会の構築に向けて、消費生活と環境を一層関連させて学習できるようにし、消費者教育の推進に関する法律（消費者教育推進法）の定義に基づく消費者市民社会の担い手として、自覚をもって環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎を培う。指導に当たっては、中学生に身近な商品や消費者被害を取り上げるなど消費行動と関連を図って扱うよう配慮する。

また、消費生活や環境問題の当事者であるという意識を持ち、家庭や地域で実践する意義に

ついて気付くことができるよう工夫する。自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について、自分や家族の消費行動が環境への負荷を軽減させたり、企業への働きかけとなって商品の改善につながったりすることなどを理解できるようにする。その際、衣食住に関わる多くのものが限りある資源であり、それらを有効に活用するために自分や家族の消費行動が環境に与える影響を自覚し、多くの人が行ったり、長期にわたって続けたりすることが大切であることに気付かせる。さらに、自ら消費生活の在り方やライフスタイルの改善に向けて、品質や価格などの情報に疑問や関心をもたせ、自身の行動が社会に影響を与えていることを考えさせたい。なお、生徒によって家庭生活の状況が異なることから、各家庭や生徒のプライバシーに十分配慮しながら取り扱うようにする。

3 題材の目標

- (1) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 〈知識及び技能〉
- (2) 物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<p>物資・サービスの購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

5 題材の指導と評価の計画（8時間扱い）

〔1〕 家庭生活と消費	1時間
〔2〕 様々な支払い方法と計画的な金銭管理	3時間
〔3〕 消費者被害と消費者の自立	本時 1 / 2 2時間
〔4〕 持続可能な社会	2時間

小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭生活と消費	1	<p>○自立した消費者として、自分や家族の消費生活について振り返り、問題を見だし、課題を設定することができる。</p> <p>・これまでの生活の中で、自分や家族の消費生活を振り返り、生活に必要な物資・サービスの購入時に関わる問題点等について話し合い、消費生活の課題を設定する。</p>	<p>事例のポイント①</p>	<p>①物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見だしして課題を設定している。</p> <p>・ワークシート</p>	
様々な支払い方法と計画的な金銭管理	2	<p>○多様化した様々な購入方法や支払い方法の特徴について、理解することができる。</p> <p>・調理実習で扱う食材の購入を想定し、購入方法の特徴(店舗販売とネットスーパーなどの無店舗販売)についてまとめ、それぞれの利点と問題点を考え、話し合う。</p> <p>・食材の購入場面における支払い方法(前払い、即時払い、後払い)の違いによる特徴や、クレジットカードによる三者間契約と二者間契約の利点と問題点について考えて発表し合い、まとめる。</p>	<p>①購入方法や支払い方法の特徴について理解している。</p> <p>・ワークシート</p> <p>・ペーパーテスト</p> <p>事例のポイント②</p>		<p>①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・行動観察</p> <p>・ワークシート</p>
	3	<p>○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることを理解することができる。</p> <p>・模擬家族が生活するために必要な物資・サービスを考える。</p> <p>・模擬家族の1ヶ月の家計の収支のバランスをシミュレーション(家計簿アプリ等活用)するとともに検討し、各自の考えをまとめ、グループで意見を交換し合う。</p> <p>・話し合った内容をもとに、限られた収入の中で、収支のバランスをはかるために、どのようにするとよいかまとめる。</p>	<p>②計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p> <p>・ワークシート</p> <p>事例のポイント②</p> <p>ICT活用の利点①</p>	<p>②物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。</p> <p>・ワークシート</p> <p>・行動観察</p>	

	<p>4</p> <p>○物資・サービスの選択に必要な情報を適切に収集・整理し、情報を活用して購入について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫が故障してしまった場面を想定し、購入について模擬家族で検討し、発表し合う。 ・発表をもとに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理の方法についてまとめる。 	<p>③物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 <p>事例のポイント②</p>	<p>③物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 	<p>②金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート
<p>消費者被害と消費者の自立</p>	<p>5 本時</p> <p>○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「契約クイズ」を通して、契約への関心を高める。 ・日常生活の中で行われている「契約」にはどのようなものがあるか、考える。 ・事前に生徒が答えアンケートアプリの結果をもとに、中学生が遭遇している消費者トラブルの事例を共有する。 ・消費者トラブルについて、「Yチャート」及び資料を活用してグループで解決策を話し合う。 (資料：国民生活センター「消費者トラブル解説集」) ・話し合いを踏まえ、売買契約の基本要素についてまとめる。 	<p>④売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>ICT活用の利点①</p>	<p>編 P125 指導計画作成の留意事項(2)</p> <p>事例のポイント①</p>	
	<p>6</p> <p>○自立した消費者として、売買契約の仕組みと関連させ、消費者被害を防ぐ対応の仕方について、ロールプレイングを通して、評価したり、改善したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で学んだことを活用し、消費者被害を防ぐ対応の仕方について、ロールプレイングの形式で考え、実践を評価したり、更なる改善策を検討したりする。 	<p>事例のポイント①</p>		

持続可能な社会	7	<p>○消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの購入場面为例としてあげ、資源や環境への配慮、社会に及ぼす影響などの観点から話し合う。 <p>ICT活用の利点②</p>	<p>⑤消費者の権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>事例のポイント②</p>	<p>④物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 	<p>③よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
	8	<p>○自立した消費者として、消費行動を考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会の構築」などの視点から、環境や社会のために自身がすぐにできることを考え、計画を立てる。 ・グループで発表し合い、計画を見直す。 			

6 本時の学習指導（本時5／8時）

- (1) 目標 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解することができる。
(知識及び技能)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点（・） 評価規準（◇） 【評価の観点】（評価方法） 手立て（→）
5	1 「契約クイズ」に取り組み、契約への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「この時、契約は成立しているか？」を考えるクイズを数事例提示し、生徒の関心を高める。 クイズ例：○スニーカーを店で1週間お取り置きしてもらう。 ○フリーマーケット会場で、当初3,000円と言われたTシャツを値切り、2,500円になったので「買います！」と言った。 ○引っ越しをする友人に、「使っていないテレビをあげるよ」と言われ、「ありがとう、うれしい！」と言った。
10	2 日常生活の中で行っている契約にはどのようなものがあるか、考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が行っている契約には何があるか問いかけ、身近に感じている例を挙げられるようにする。（例：コンビニでの買い物、インターネットショッピング、ゲームの課金、友達との口約束 など） ・消費者被害の背景については、消費者被害が消費者と事業者の間にある情報量などの格差によって発生することを理解できるようにする。 ・インターネットの普及やキャッシュレス化の進行により、目に見えないところで複雑な問題に巻き込まれやすくなること、被害が拡大しやすいこと、被害者の低年齢化により、中学生も被害者になりやすいことに触れる。 ・通信販売には、クーリング・オフ制度が適用されないことに触れる。

5	<p>3 事前に生徒が答えた「買い物で失敗したことや消費者トラブルにあった経験」(Google フォーム)を共有し、中学生が遭遇している消費者トラブルの事例を共有する。</p> <p>事例のポイント①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワードクラウド作成ツールを活用し、生徒の意見を可視化する。 ・事例を「契約の成立」と結び付け、消費者トラブルを防ぐためにどうしたらよいか問いかけ、本時の学習課題を確認する。 <p>ICT活用の利点①</p> <p>学習課題 「契約」について学び、消費者トラブルを防ぐための方法を考えよう</p>		
15	<p>4 3で共有した消費者トラブルを防ぐ方法について、思考ツール「Yチャート」及び資料を活用し、グループで話し合い、共有する。</p> <p>編 P125 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Yチャート」の3つの領域に「契約前の行動」「契約時の問題点」「契約後の対応」を設定し、それぞれの視点から意見を出し合い、思考を深める。 ・国民生活センターの「消費者トラブル解説集」を紹介し、考える資料としての活用を促す。 <p>ICT活用の利点①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害にあった場合の対応について、保護者など身近な大人に相談する必要があることに気付くようにする。 		
15	<p>5 3で話し合った内容を踏まえ、売買契約の基本要素についてまとめる。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、次時の授業について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「契約」は法律に則ったきまりであること、売買契約が成立するためには買い主及び売り主の合意が必要であること、既に成立している契約には法律上の責任が伴うため、消費者の一方的な都合で取り消すことができないことを理解できるようにする。 <p>◇売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。【知識・技能】(ワークシート)</p> <table border="1" data-bbox="571 1288 1449 1500"> <tr> <td data-bbox="571 1288 762 1500"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td data-bbox="762 1288 1449 1500"> <ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の仕組みの基本要素、契約に関連した行動、問題点や対応についてワークシートにまとめている。 →話し合いの内容や板書をもとに本時の学習を共に振り返り、ワークシートにまとめられるよう促す。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・次時において、消費者被害が発生する背景や被害を回避する方法について、ロールプレイング形式で考えて発表し合いながら実践的に学ぶことを知らせる。 	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の仕組みの基本要素、契約に関連した行動、問題点や対応についてワークシートにまとめている。 →話し合いの内容や板書をもとに本時の学習を共に振り返り、ワークシートにまとめられるよう促す。
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の仕組みの基本要素、契約に関連した行動、問題点や対応についてワークシートにまとめている。 →話し合いの内容や板書をもとに本時の学習を共に振り返り、ワークシートにまとめられるよう促す。 			

7 学習評価の具体例

《ワークシート》

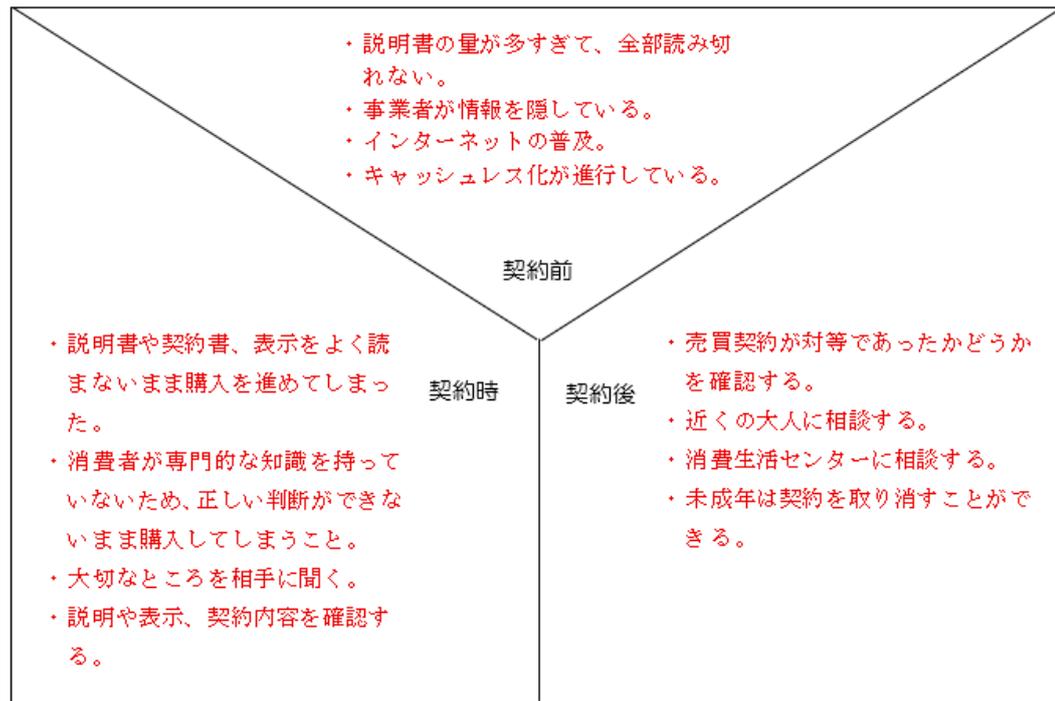
(第5 / 8時 (本時))

2年生家庭プリント no.

消費者被害の対応として私たちにできることを考えよう

★私たちが行っている契約にはどんなものがあるでしょう？

1. 買い物で失敗したことや消費者トラブルにあった経験 (Google Forms) を踏まえて、3つの場面で、問題点や行動、対応などを考えてみましょう。



○まとめ～消費者被害が起きてしまうのはなぜでしょうか？また、その前に防いだり、解決したりするためにはどのように対応したらよいかをまとめてみよう。

消費者被害が起きてしまうのは、消費者である私たちが契約書や説明書をよく確認していないことが原因として挙げられます。そのため、契約したり、買い物をしたりするときに、分からないところは相手に質問して、契約の内容についてよく確認します。それでも解決が難しい時には、大人に相談します。

【知識・技能④】

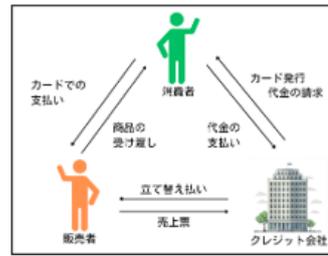
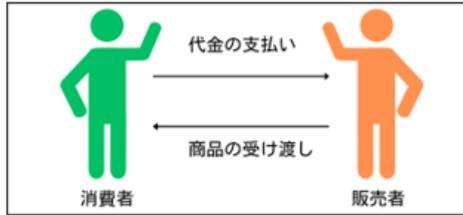
(売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。)

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した生徒の具体的な事例

消費者被害は、消費者と事業者の間にある情報量の差によって発生している。そのため、消費者と事業者が対等な立場で結んだ売買契約であるかどうかを判断することが大切である。それでも判断が難しいときは、身近な大人や消費生活センターに相談する。

消費者の被害とその対応について、売買契約の仕組みと関連させて十分に理解ができていた。そのため、(B) を上回る (A) と判断した。

2. 契約について知ろう！



契約は（①法律）上の責任が発生する。そのため、（②消費者）の一方的な都合で取り消すことができない。これらの契約については、（②消費者）と（③販売者）が（④対等）が立場で契約に臨むことが公正な取引の大前提！

3. 地域の消費生活センター、相談機関について知ろう！

〇〇市消費生活センター 電話番号△△△-△△△△

2年 組 番

※絵図はクラウドデザインツールにより作成

8 指導の実際

事例のポイント①（第5・6／8時）

情報の共有方法や学習内容の整理の仕方を工夫し、身近な消費者被害について、自分事として捉え、興味や関心がもてるようにする。

（第1～8／8時）

技術・家庭科(家庭分野)授業の足あと

題材名 消費生活・環境 年 組 番 氏名

自立した消費者とは？

【学習前】	【学習後】
-------	-------

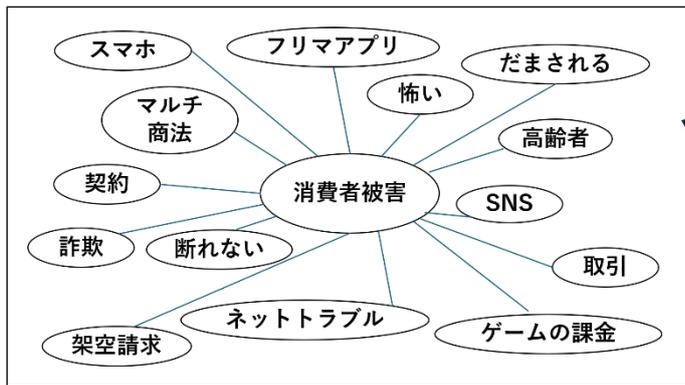
月日	タイトル	今日の授業で1番大切だと思ったこと	思ったこと・考えたこと
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

【学習を振り返って】
学習全体を振り返ったり、学習前と学習後の自分を比べたりして、思ったこと、考えたことを書きましょう。

毎時間の授業において、自分事として捉え、興味関心をもって取り組めるよう、毎時間の学習内容を自分自身で振り返り、学習の成果を実感できるようにする。

「自立した消費者とは」という本質的な問いを学習前と学習後に行い、毎時間の学習の記録を残し、蓄積していく。

記述内容を毎時間教師が確認することで、授業改善を図ったり、次時の授業へ向けたフィードバックにつなげたりできる。



事前のアンケート回答の際にプレゼンテーションソフトを使った思考ツールを活用してもよいとすることで、消費者被害について、これまでの生活経験による知識とこれからの学習を結びつきやすくし、自分事として捉えられるようにする。

Case1 代引きで身に覚えのない荷物が送られてきた

質問
インターネット通販会社から私宛てに代引きの荷物が届きました。私が不在だったので、家族が代金を支払い、荷物を受け取りました。開封して内容を確認すると、全く注文した覚えのない商品でした。返金してほしいのですが、どうしたらよいですか？

回答
まずは通販会社に連絡を取り、事情を説明して返品や返金の対応を求めましょう。質問事例のように、心当たりのない荷物が代引きで届いたときは、受け取らず、代金を支払わないようにしましょう。また普段から、「誰が注文したかわからない荷物は受け取らない」などのルールを家族間で決めておきましょう。

Case2 インターネット通販で未成年者契約の取り消しを申し出たら断られた

質問
インターネットで「初回600円」と記載されている青汁の広告を見て、1回限りの購入のつもりで申し込んだところ、2回目も商品の購入が必要な定期購入の契約で、2回目は3か月分がまとめて届き、代金が約3万円と高額であることが分かった。自分は未成年者なので販売業者に電話で未成年者契約の取り消しを求めたが、「申し込みの際に、親の承諾を得て申し込みという利用規約に同意しているのだから、取り消しには応じられない」と言われた。どうしたらよいか。

回答
インターネット通販であっても未成年者契約の取り消しはできます。単に親の承諾を得て申し込みという利用規約に同意しているからと言って、未成年者契約の取り消しができなくなることはありません。

Case1 代引きで身に覚えのない荷物が送られてきた

解説
インターネット通販の代引きによるトラブル
代引き（代金引換）とは、インターネット通販などで購入した商品の代金を、商品到着と同時に配達業者に支払い、引き換えに商品を受け取るサービスのことです。商品の到着を確認してから代金を支払うことができますが、トラブルも起こっています。
全国の消費生活センターへ
1 代引きで何事も、身に覚えのない商品が届いた
2 荷物が私の名前を冠して注文したと思われる商品が、代引きで届いたなどの情報で寄せられています。
もしも心当たりのない商品が届いた場合は以下の点を確認しましょう。
1本人に届かず、家族や友人を名目に注文した覚えがないか
2インターネットショッピングで購入したにもかかわらず、届いていない商品はないか
いずれにも当てはまらない場合は、下記を参考にしてください。
代引きで荷物が届く場合
・商品の数量や支払いが合わない。
・家族内で、受け取るべきかその場で判断できないときは、すぐに支払いをせず配達業者（ドライバー）に事情を話して、荷物を一旦持ち帰ってもらおう。
代引きで荷物を受け取ってしまった場合
・荷物の配達先に身に覚えのない商品であることを伝え、返金や返品の依頼をする。
また、普段からの購入として、通販を利用した場合は、代引き等の支払い方法も必ず家族に伝えるなど、家族間でのルールを決めておきましょう。
なお、令和3年の特定商取引法改正により、注文や契約をしていないにもかかわらず、事業者が金額を得ようとして一方的に送りつけた商品については、消費者は速やかに処分することができるようになりました。その場合、商品を購入・処分しても、消費者に支払い義務が生じることはありません。

Case2 インターネット通販で未成年者契約の取り消しを申し出たら断られた

解説
未成年者（民法第4条）が、法定代理人（親権者又は後見人）の同意を得ないで行った契約の申し込みは、原則として取り消しができます（民法第5条第1項、第2項）。しかし、未成年者が法定代理人の同意を得て申し込みを行った場合は申し込みの取り消しは認められません（民法第5条第1項）。また、未成年者が「詐術」による申し込みを行った場合は申し込みの取り消しは認められません（民法第21条）。「詐術」とは何か。
「詐術」とは、未成年者が相手を誑かせる目的で、成年者であると伝えることにより相手を信用させて契約した場合、未成年者が相手を誑かせる目的で、法定代理人の同意を得ていないにもかかわらず同意を得ているなどどうせをつくことにより相手を信用させて契約した場合は意味します。
「詐術」に当たるかどうかの考え方
「電子商取引及び情報取引等に關する準則」によれば、「詐術」に当たるかどうかは、以下のような個別具体的な事情を総合考慮した上で実質的な観点から判断されるものとされています。
・未成年者の年齢、商品・役務が未成年者が取引に入ることが想定されるような性質のものかどうか
・事業者が設定する未成年者かどうかの確認のための画面上の表示が未成年者に対する警告の意味を認識させるに足りる内容の表示であるか
・未成年者が取引に入る可能性の程度等に応じて実態と異なる入力により取引することを困難にする年齢確認の仕組みとなっているか
取り消すことができる（詐術に当たらない）と解される例
・単に「未成年ですか」との問いに「はい」のボタンをクリックさせる場合
・利用規約の一部に「未成年者の場合は法定代理人の同意が必要です」と記載してあるのみである場合

国民生活センターの「消費者トラブル解説集」を紹介する際に、消費者被害のカードを作成し、紙媒体と電子データで配布をして共有する。これにより、消費者被害の様々な場面を想定する際に、インターネット上の資料を直接閲覧するだけでなく、自分の生活に結びつきやすい関心が高い資料を選択して考えることができる。

事例のポイント② (第2・3・4 / 8時)

具体的な状況や場面を想定しながら、思考し、判断する場面を設定することで、今後の生活で実践できる学びにする。

〇〇家の家族情報と来月の予算
※父、母、中学2年生の子どもの3人家族

項目	金額	内訳	備考	購入方法	支払方法
毎月の生活費	330,000				
銀行口座の残高	50,000				
貯蓄用の口座	7,000,000				
クレジットカード	500				
クレジットカード		※購入した翌月25日に銀行口座から引き落とし。一回払い。3箇の分割払いが原則。分割払い100円につき、2円の事務料がかかる			
金額	内訳	備考	購入方法	支払方法	
食費	60,000	50,000 食料全般		スーパーなど	現金
		10,000 外食		飲食店	未定
住居	75,000	家賃			引き落とし
光熱・水道	17,000	電気、ガス、水道			引き落とし
	8,000	給湯機、エアコン、洗濯機		ホームセンターなど	現金
家具・家電用品	150,000	冷蔵庫	冷蔵庫が使用して10年を過ぎ、異常な音がする。母は修理好きなので、できるだけ良いものが欲しいと思っている。食料も腐らせたら困るので、完全には壊れる前に買い替えが必要あり。		未定
被服	14,500	10,000 洗濯金銭		コインランドリー	現金
		4,500 ポロシャツ	通学用のポロシャツが古くなってきたので。		未定
保険医療	9,000	生命保険、医療費			引き落とし
交通・通運費	60,000	35,000 スマホ通話料、ガソリン、駐車場			引き落とし
		25,000 自転車	子どもが通学で駅まで行くのに使用。壊れてしまっただけでなく、車には1台しかない。ネットだと送料無料だが、返送料は有料。		未定
教育	42,400	17,000 塾	毎月かかる		引き落とし
		400 コンパス	今年の高かテスト(来月)までに必要。		未定
		25,000 タブレット	学習機にあると便利なので欲しい。		未定
娯楽	25,000	本、若い服など	母の趣味の本や父の趣味の釣りクラブ、子どもの趣味など		引き落とし
その他の消費支出	37,940	30,000 化粧品、シャンプーなど		ドラッグストアなど	現金
		2,940 ケース	いつも使っている1000円1冊990円で、2000円以上で送料無料なので、ネットで購入するつもりだったが、ケースがある3冊もなかったため、早急にキャンセルした。		未定
		5,000 水筒	子どもが学校で使用する水筒が壊れて、新しいものを購入したい。保温・保冷機能付き希望。		未定
交際費	10,000	10,000 母親	母親の誕生日祝い	専門店	現金
合計	508,840				

模擬家族を想定して、金銭管理についてのシミュレーションをする。そこで、具体的な家庭の事情の例を設定した。

例) 冷蔵庫が大きな音を出している。通勤や通学のために使っている自転車のブレーキが壊れそうである。通学用のポロシャツが古くなってきている。

(第7 / 8時)

ヒントカード	環境への影響は？ ※ごみとしてでるものは？
価格に違いは？	作り手の思いは？
どんなカカオを使っている？	働く人の環境は？
〇〇マークはついている？	パッケージにこだわりは？

チョコレートの購入場面を例としてあげ、資源や環境への配慮、社会に及ぼす影響などの観点から話し合うに当たり、ヒントカードを用意する。

これを場面に応じて選び、使用することで、生徒一人一人が具体的な場面を想定しやすくする。

ICT活用の利点②

授業場面に合わせた資料、画像や動画の提示をすることができる。

(第7/8時)

会社情報カード①

A社

〇〇の小さなお菓子会社
価格：500円

売り込みポイントになりそう?	価格	デザイン	環境への負担	生産者への負担	作り手の思い	マーク	カロリー(機能性)	カカオの生産方法
〇△×で判定	×	〇	〇	〇	◎	×	×	◎

会社情報カード②

A社

〇〇の小さなお菓子会社

- 〇価格：500円
- 〇働く人を思っ、適正価格でカカオを手に入れている。店長が実際にガーナに！
- 〇商品に関するマークはついていない
- 〇オーガーマイドのチョコレートを注文できる名入れやキャラクターも大歓迎！
- 〇カロリーが高い(550キロカロリー)
- 〇賞味期間は、3カ月 → 保存料不使用
- 〇パッケージは紙を使用。ラッピングモシンプル

会社情報カード①

B社

とことんこだわのお菓子会社
価格：450円

売り込みポイントになりそう?	価格	デザイン	環境への負担	生産者への負担	作り手の思い	マーク	カロリー(機能性)	カカオの生産方法
〇△×で判定	△	△	〇	〇	△	◎	×	〇

会社情報カード②

B社

とことんこだわのお菓子会社

- 〇価格：450円
- 〇原料の価格が高いので、価格が上がってしまう
- 〇カロリーが高い(500キロカロリー)
- 〇パッケージには紙を使用し、ラッピングモシンプル
- 〇賞味期間は、6カ月 → 保存料使用
- 〇フェアトレードマークやレインフォレスト・アライアンス認証のカエルマークがついている

会社情報カード①

C社

とにかく多くの人に食べて欲しいお菓子会社
価格：200円

売り込みポイントになりそう?	価格	デザイン	環境への負担	生産者への負担	作り手の思い	マーク	カロリー(機能性)	カカオの生産方法
〇△×で判定	◎	◎	×	×	〇	×	〇	×

会社情報カード②

C社

とにかく多くの人に食べて欲しいお菓子会社

- 〇価格：200円
- 〇原料の価格が安いので、安い価格で提供できる
- 〇フェアトレードマークやレインフォレスト・アライアンス認証のカエルマークはついていない
- 〇パッケージはとにかく安いビニールを使用
- 〇デザインにこだわっており、誰もが手に取りやすい
- 〇賞味期間は2年と長いので、保存食にもできる
- 〇カロリーが低い(250キロカロリー)

会社情報カード③

A社

〇〇の小さなお菓子会社

〇価格：500円
〇フェアトレードマークやレインフォレスト・アライアンス認証のカエルマークはついていない
→マークをとるのにも期間とお金がかかるため
→店長が実際にガーナに行き食材を調達
→店長の目でオーガニックカカオを選別しているため、マークがなくても、無農薬の有機栽培だと自信を持っておすすめできる
〇働く人を思っ、適正価格を支払ってカカオを仕入れている。店長が実際にガーナに！
→定期的にガーナに足を運び、生産者とコミュニケーションをとっており、ガーナの雇用にも貢献している
〇オーガーマイドのチョコレートを注文できる
→お香さん1人1人を大切にしており、名入れ等も大歓迎
→親子二代で営む店と期間に違っている
〇カロリーが高い(550キロカロリー)
〇賞味期間は、3カ月 → 保存料不使用
〇パッケージには紙を使用し、ラッピングモシンプル
→ゴミが少なく、環境に負担が小さい
〇小さなお店で、パティシエが1人しかいない。大量生産ができないため、価格が高くなってしま

3社比較表

売り込みポイントになりそう?	保存期間	デザイン	環境への負担	生産者への負担	作り手の思い	マーク	カロリー(機能性)	カカオの生産方法
A社	△	〇	◎	◎	◎	×	×	〇
B社	〇	△	〇	〇	△	◎	×	〇
C社	◎	◎	×	×	〇	×	◎	×

会社情報カード③

B社

とことんこだわのお菓子会社

〇価格：450円
〇フェアトレードマークやレインフォレスト・アライアンス認証のカエルマークがついている
→直接で農家の言葉が分かるようにマークを取得
→オーガニック(化学肥料や農薬を使っていない)のカカオを使用 → 生産には手間がかかる
→適正な価格でガーナの労働者が働くことができる
→農場と直接契約。自然条件によってカカオが不足しても、現地の労働者に資金が払われるようにしている
→カカオの加工工場は環境を良く、現地の人の労働を確保することに努めている
〇カロリーが高い(500キロカロリー)
〇パッケージには紙を使用し、ラッピングモシンプル
→ゴミが少なく、環境に負担が小さい
〇賞味期間は、6カ月 → 保存料使用
〇原料の価格が高いので、価格が上がってしまう
→大量生産することで価格を下げる工夫をしている

会社情報カード③

C社

とにかく多くの人に食べて欲しいお菓子会社

〇価格：200円
〇フェアトレードマークやレインフォレスト・アライアンス認証のカエルマークはついていない
→条件を満たしていないため
→農薬を使ったカカオを使用 → 収穫量が増える
→自然環境や働く人に悪影響が生じることも
→安い買値で労働力になるという理由から、児童労働が横行している
→現地の労働者は見合う賃金をもらえない
→カカオの加工工場は環境が悪く、現地の土壌の産廃被害が多い
〇カロリーが低い(250キロカロリー)
〇パッケージはとにかく安いビニールを使用
→ゴミが少なく、環境に負担が小さい
〇デザインにこだわっており、誰もが手に取りやすい
〇賞味期間は2年と長いので、保存食にもできる
〇原料の価格が安いので、安い価格で提供できる
→コストダウンをモットーに大量生産工場を自営する
→チョコレートの生産は、大きな工場で、地域の人がかたくなっている

チョコレートの購入場面について考えるにあたり、A～Cの3つの会社を想定した。これらの情報をこまめに配布し、最後に3社の比較がしやすくなるように生徒の実態に合わせて資料の活用ができるようにした。